様式第２（第６条関係）（平10通産令34・平11通産令22・一部改正）

鉱　床　説　明　書

住　　所

氏名又は名称及び法人にあってはその代表者の氏名

１　海底地質の状態

２　海底地形の状態

３　鉱床の状態

⑴　位置

⑵　面積

⑶　分布密度（キログラム／平方メートル）

⑷　品位（パーセント）

⑸　その他

４　鉱量及び金属量

⑴　総鉱量及び金属量（百万トン）

⑵　可採鉱量及び金属量（百万トン）

５　鉱量及び金属量の算出根拠

６　稼行の実績

７　その他参考となる事項

備考

１　海底地質図、海底地形図、鉱床位置図及び鉱床図を添えて説明すること。この場合において、海底地質図は表層堆積物等厚線図、地質構造図及び海底面構成物質分布図に、海底地形図は平面図及び断面図に、鉱床図は等分布密度図、等品位図及び含有金属密度図に分けることとし、縮尺は120万分の１とすること。

２　「３⑷品位」には、銅、マンガン、ニッケル及びコバルトについて記載すること。

３　「３⑸その他」には、深海底鉱物資源の形状及び粒径並びに鉱床の確認方法等について記載すること。

４　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。